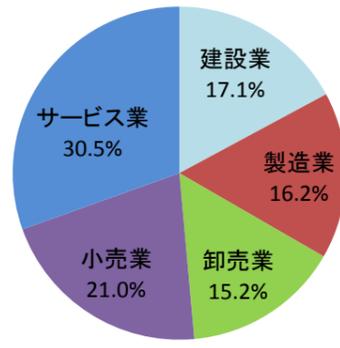


弘前地域企業短期景況観測調査（7月～9月期分）結果報告

1. 調査概要

- 1) 調査対象企業：弘前商工会議所議員、部会役員、小規模企業振興委員 旅館・ホテル組合役員、石油卸売業の各企業
- 2) 調査対象期間：平成23年7月～9月期
- 3) 調査時期、方法：平成23年10月 3日 調査票発送 (FAX)
：平成23年10月17日 調査票回収締め切り (FAX)
- 4) 回答率：48.7% (回答企業数105企業/調査企業数216企業)
- 5) 回答企業の業種割合：(右の円グラフをご参照ください。)



注) 5)「在庫」については、本来であれば「不足」との回答は良好な傾向を示しますが、今回の「在庫不足」の要因は物流の停滞に起因するものであるため、点線で示した方をご参照ください。

2. 景況動向について

※表中DI (Diffusion Index) 値とは、(増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合) で計算される景況判断指数です。

1)「売上」について

・7月～9月の「売上」は、昨年同期と比較して

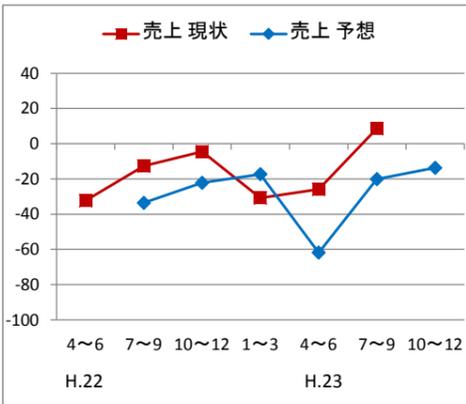


(業種別)	上昇	不変	下降	DI値
建設業	27.8%	44.4%	27.8%	0.0
製造業	41.2%	41.2%	17.6%	23.5
卸売業	25.0%	25.0%	50.0%	▲ 25.0
小売業	50.0%	13.6%	36.4%	13.6
サービス業	40.6%	37.5%	21.9%	18.8

・10月～12月の「売上予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	上昇	不変	下降	DI値
建設業	22.2%	55.6%	22.2%	0.0
製造業	18.8%	50.0%	31.3%	▲ 12.5
卸売業	12.5%	43.8%	43.8%	▲ 31.3
小売業	22.7%	36.4%	40.9%	▲ 18.2
サービス業	26.7%	36.7%	36.7%	▲ 10.0



2)「採算」について

・7月～9月の「採算」は、昨年同期と比較して

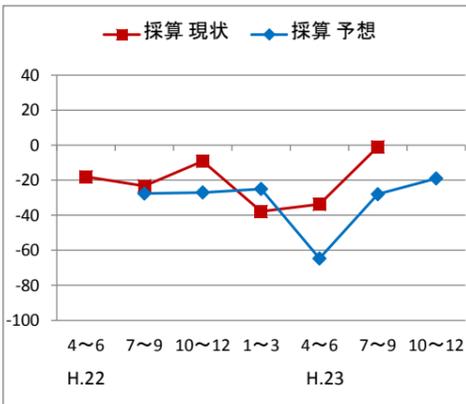


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	11.1%	55.6%	33.3%	▲ 22.2
製造業	29.4%	35.3%	35.3%	▲ 5.9
卸売業	12.5%	50.0%	37.5%	▲ 25.0
小売業	40.9%	31.8%	27.3%	13.6
サービス業	35.5%	45.2%	19.4%	16.1

・10月～12月の「採算予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	22.2%	44.4%	33.3%	▲ 11.1
製造業	6.3%	50.0%	43.8%	▲ 37.5
卸売業	6.3%	50.0%	43.8%	▲ 37.5
小売業	18.2%	54.5%	27.3%	▲ 9.1
サービス業	21.4%	46.4%	32.1%	▲ 10.7



3)「資金繰り」について

・7月～9月の「資金繰り」は、昨年同期と比較して

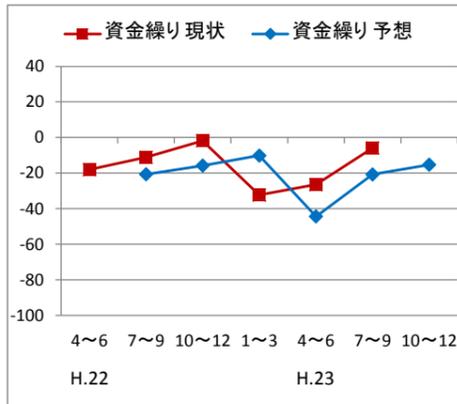


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	5.6%	66.7%	27.8%	▲ 22.2
製造業	17.6%	64.7%	17.6%	0.0
卸売業	6.3%	93.8%	0.0%	6.3
小売業	13.6%	63.6%	22.7%	▲ 9.1
サービス業	10.3%	75.9%	13.8%	▲ 3.4

・10月～12月の「資金繰り予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	5.6%	77.8%	16.7%	▲ 11.1
製造業	6.3%	62.5%	31.3%	▲ 25.0
卸売業	6.3%	93.8%	0.0%	6.3
小売業	0.0%	77.3%	22.7%	▲ 22.7
サービス業	3.8%	73.1%	23.1%	▲ 19.2



4)「仕入単価」について

・7月～9月の「仕入単価」は、昨年同期と比較して

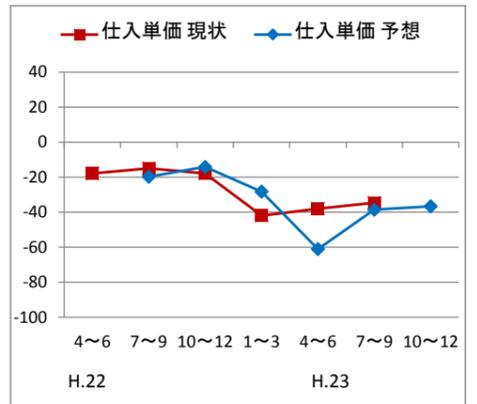


(業種別)	下降	不変	上昇	DI値
建設業	0.0%	55.6%	44.4%	▲ 44.4
製造業	0.0%	37.5%	62.5%	▲ 62.5
卸売業	6.3%	56.3%	37.5%	▲ 31.3
小売業	4.5%	68.2%	27.3%	▲ 22.7
サービス業	3.4%	69.0%	27.6%	▲ 24.1

・10月～12月の「仕入単価予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	下降	不変	上昇	DI値
建設業	0.0%	55.6%	44.4%	▲ 44.4
製造業	0.0%	40.0%	60.0%	▲ 60.0
卸売業	12.5%	43.8%	43.8%	▲ 31.3
小売業	4.5%	63.6%	31.8%	▲ 27.3
サービス業	0.0%	70.4%	29.6%	▲ 29.6



5)「在庫」について

・7月～9月の「在庫」は、昨年同期と比較して

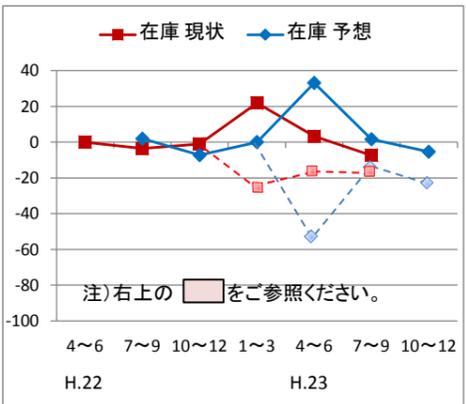


(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	6.3%	93.8%	0.0%	6.3
製造業	5.9%	94.1%	0.0%	5.9
卸売業	6.3%	62.5%	31.3%	▲ 25.0
小売業	4.5%	72.7%	22.7%	▲ 18.2
サービス業	4.2%	87.5%	8.3%	▲ 4.2

・10月～12月の「在庫予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	6.3%	93.8%	0.0%	6.3
製造業	6.3%	81.3%	12.5%	▲ 6.3
卸売業	12.5%	62.5%	25.0%	▲ 12.5
小売業	9.1%	77.3%	13.6%	▲ 4.5
サービス業	4.3%	82.6%	13.0%	▲ 8.7



6)「従業員」について

・7月～9月の「従業員」は、昨年同期と比較して

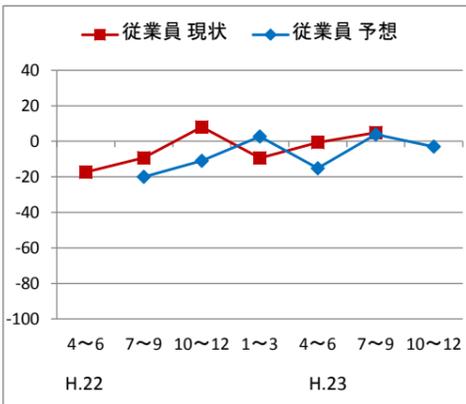


(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	27.8%	50.0%	22.2%	5.6
製造業	23.5%	70.6%	5.9%	17.6
卸売業	12.5%	75.0%	12.5%	0.0
小売業	0.0%	90.9%	9.1%	▲ 9.1
サービス業	10.0%	90.0%	0.0%	10.0

・10月～12月の「従業員予想」は、昨年同期と比較して

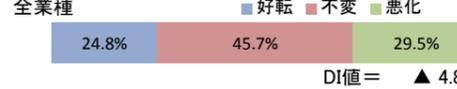


(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	27.8%	61.1%	11.1%	16.7
製造業	12.5%	81.3%	6.3%	6.3
卸売業	0.0%	81.3%	18.8%	▲ 18.8
小売業	0.0%	86.4%	13.6%	▲ 13.6
サービス業	3.7%	88.9%	7.4%	▲ 3.7



7)「自社景況」について

・7月～9月の「自社景況」は、昨年同期と比較して

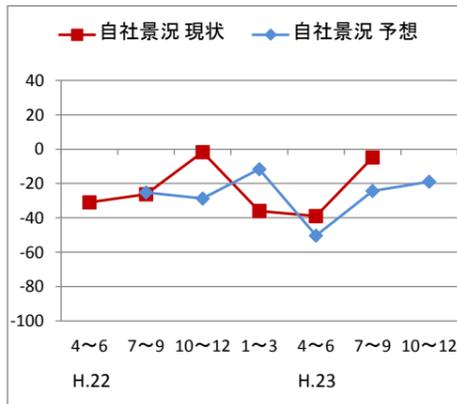


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	11.1%	50.0%	38.9%	▲ 27.8
製造業	23.5%	47.1%	29.4%	▲ 5.9
卸売業	25.0%	43.8%	31.3%	▲ 6.3
小売業	31.8%	40.9%	27.3%	4.5
サービス業	28.1%	46.9%	25.0%	3.1

・10月～12月の「自社景況予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	5.9%	64.7%	29.4%	▲ 23.5
製造業	18.8%	56.3%	25.0%	▲ 6.3
卸売業	18.8%	31.3%	50.0%	▲ 31.3
小売業	13.6%	50.0%	36.4%	▲ 22.7
サービス業	24.1%	37.9%	37.9%	▲ 13.8



8)「業界景況」について

・7月～9月の「業界景況」は、昨年同期と比較して

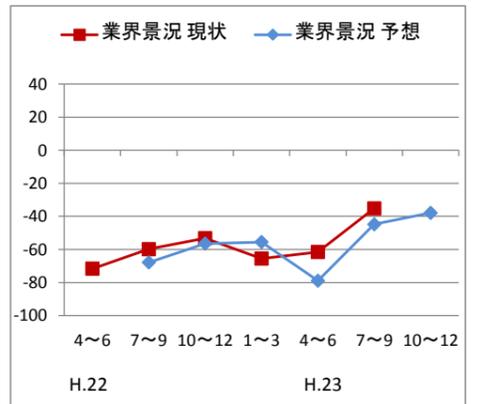


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	0.0%	44.4%	55.6%	▲ 55.6
製造業	11.8%	58.8%	29.4%	▲ 17.6
卸売業	18.8%	18.8%	62.5%	▲ 43.8
小売業	22.7%	27.3%	50.0%	▲ 27.3
サービス業	6.3%	53.1%	40.6%	▲ 34.4

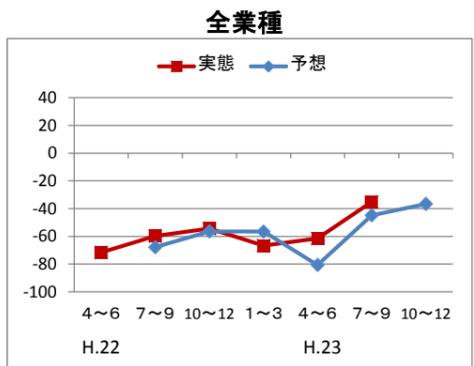
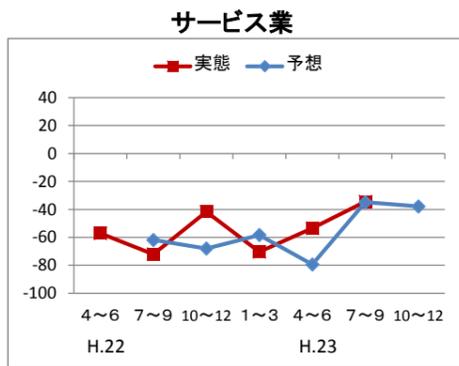
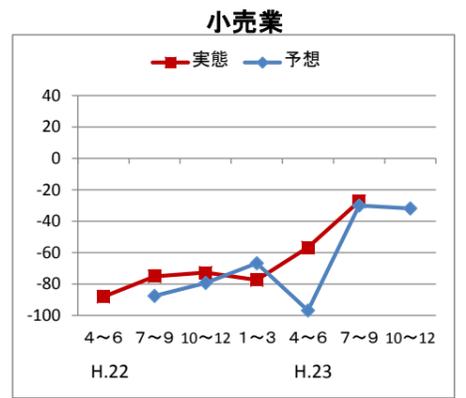
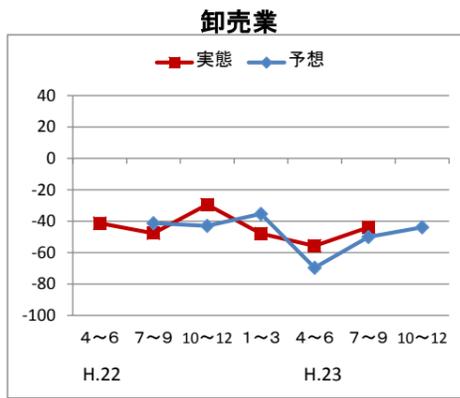
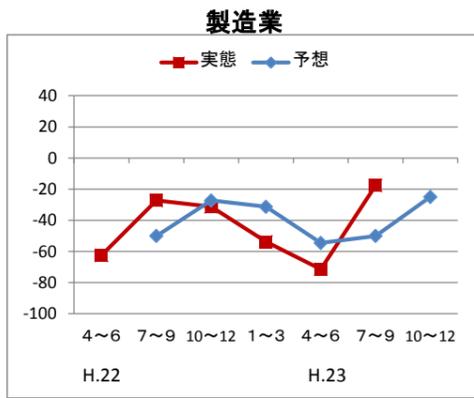
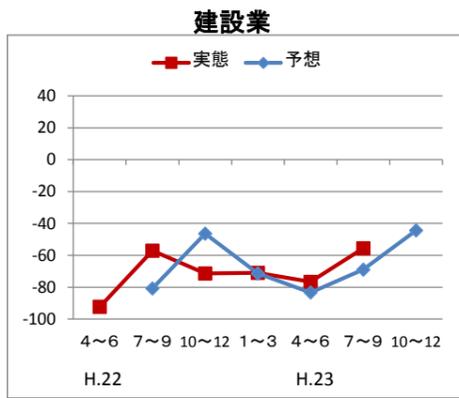
・10月～12月の「業界景況予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	5.6%	44.4%	50.0%	▲ 44.4
製造業	6.3%	62.5%	31.3%	▲ 25.0
卸売業	12.5%	31.3%	56.3%	▲ 43.8
小売業	9.1%	50.0%	40.9%	▲ 31.8
サービス業	3.4%	55.2%	41.4%	▲ 37.9

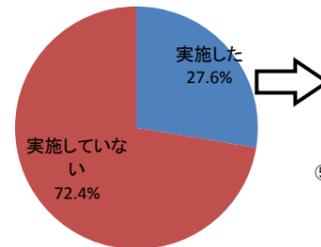


◆業種別の業況推移

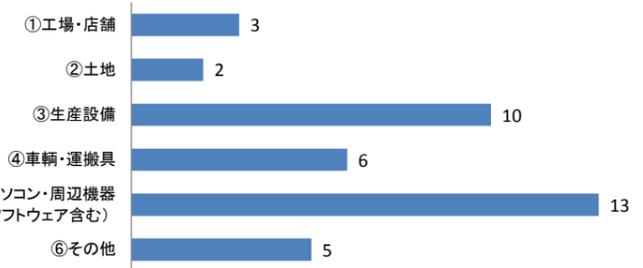


3. 設備投資動向について

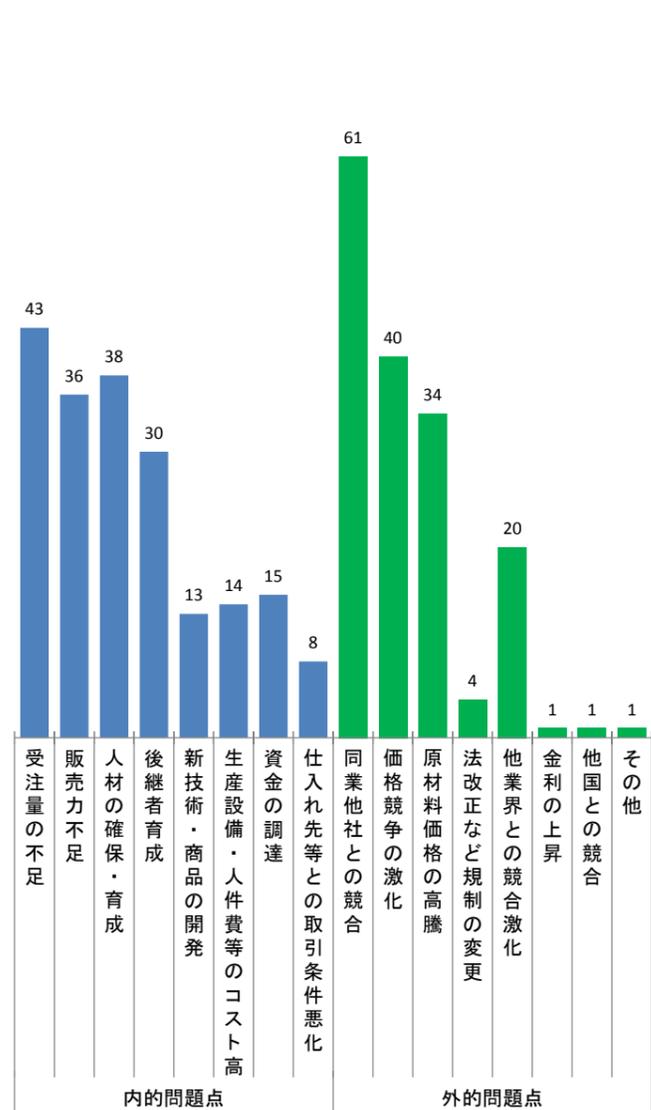
1) 7月～9月の間に設備投資を(実施した/実施していない)



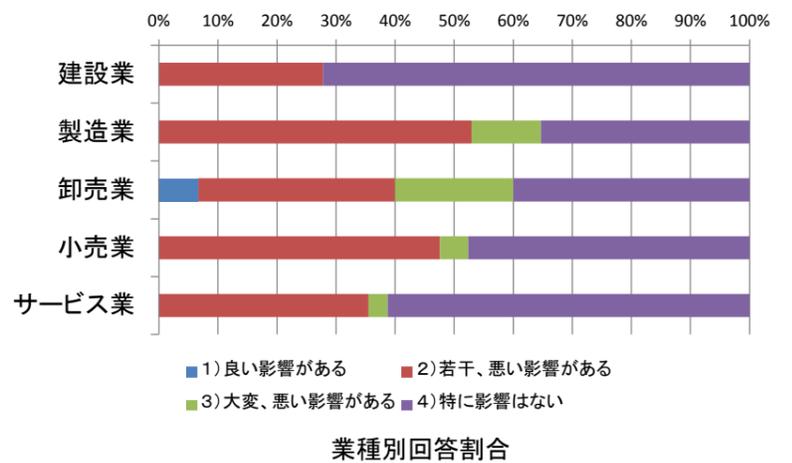
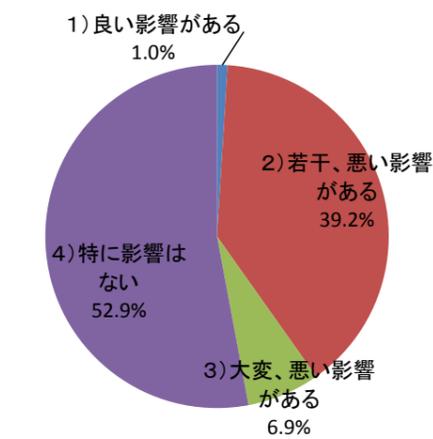
2) 設備投資の内容について(複数回答可)



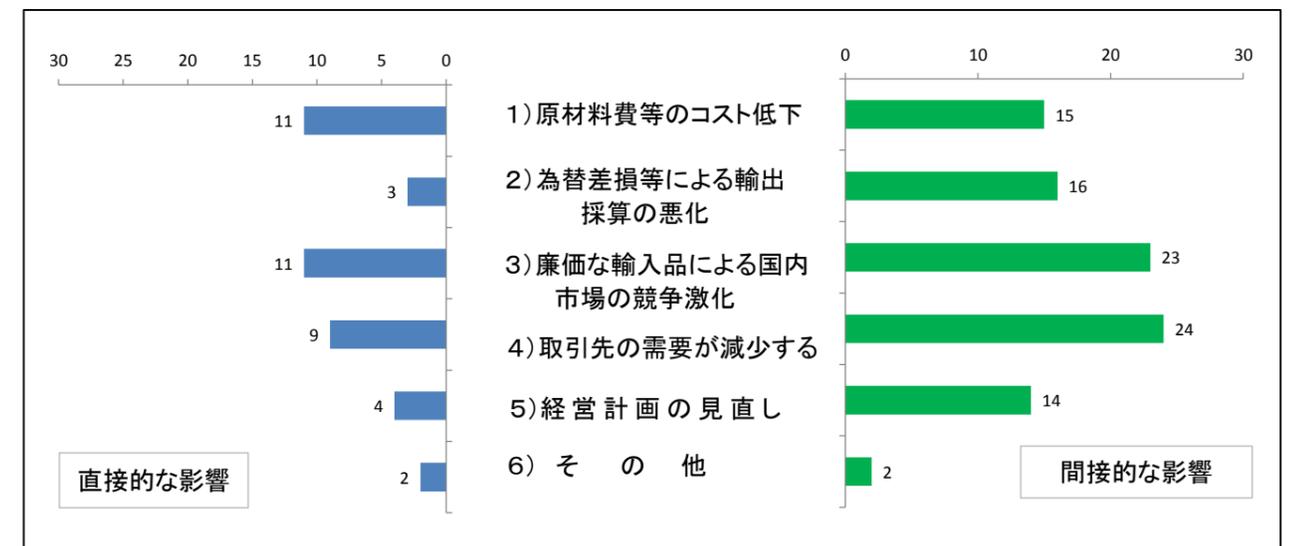
4. 経営上の問題点について(複数回答可)



5-1. 円高傾向が経営に与える影響について



5-2. 円高傾向が直接、間接的に経営に与える具体的な影響について



6. キーワード、トピックス、関心事項

- ・ 円高高止まり傾向、円高傾向の再加速
- ・ 増税、年金支給開始年齢の引き上げ問題
- ・ 一連の原発事故問題の動向
- ・ 震災からの復旧、復興需要の動向
- ・ 政治不信、政治情勢の不安定感
- ・ 海外経済の不透明感

【調査のポイント】

弘前地域の景況は大幅な改善傾向が見られ、景況レベルは概ね東日本大震災前の状況まで回復しています。個々の企業の業況も被災地の代替生産や復興需要等により大きく改善しています。先行きについても、引き続き景況は改善に向かうとの判断が増加し、マイナス幅の縮小傾向を継続しています。

◆業種別の景況感

建設業、製造業、小売業では復興需要や被災地の代替生産、震災後の消費抑制傾向の緩和等を要因に業況は改善しました。サービス業ではホテル・旅館業や飲食業がイベント開催やコンベンション等誘致により好調を示し業種全体の業況の改善を牽引しています。卸売業では建設関連が改善傾向にある一方で、原発事故による風評の影響等から農産物等の食品関連の業況が低迷しており、業種全体の業況では緩やかな改善傾向を示しました。

先行きについては、建設業、製造業で更なる景況の改善傾向が継続すると判断していますが、小売業、サービス業で増税や金融情勢等を懸念材料に慎重な見方をする傾向が見られます。